



TKK 共通シラバス

1. 科目名	地域減災論（実践的防災学）				
2. 教員名	水本 匡起		3. 担当大学	東北福祉大学	
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	後期集中	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>2011年3月11日に発生した東日本大震災をはじめとして、近年は日本各地で自然災害が頻発している。そして、それらの災害が起こるたびに、緊急支援から復興に至るまで、地域や社会に潜在する様々な課題も浮き彫りとなっている。</p> <p>防災対策の重要性が幾度となく叫ばれているが、災害発生から時間が経つに連れて、市民の防災意識が低下の一途をたどることは、これまでに何度も繰り返している歴史的な事実でもある。したがって、より長期的な視点で自然災害による生命・生活・財産の被害を軽減するためには、平時の地域システムとして実践的な「防災・減災」の定着を図ることが何よりも重要となる。このような背景のもと、現在は、「自らの生命は自らが守る（自助力）、地域の安全は地域で守る（共助力）」という姿勢のもと、地域での取組みの構築や実践力がある人材育成が急務とされている。</p> <p>本講義では、それぞれのフィールドで活躍する専門家から「自助力」・「共助力」を高めるための知識や取組みについての現状と課題、今後の展望や可能性などについて多面的に学んでいく。そして本講義で獲得した知識や経験を活かし、安心・安全な地域づくりを新たに創造できる人材育成を目的とする。</p>					
8. 授業のキーワード（神）					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
主題ごとの専門家によるオムニバス形式の授業を展開する。					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）					
レジュメを準備する。受講料 12,000 円（内訳：防災士教本代 4,000 円、防災士資格取得試験受験料 3,000 円、防災士資格認証登録料 5,000 円）※受講料については変更になる場合があります。					
11. 授業時間外に必要な学修（神）、事前・事後に受講してほしい講義等（東）					
<p>【事前受講してほしい講義等】 現代社会とボランティア、ボランティア活動論、福祉ボランティア活動Ⅰ</p> <p>【事後受講してほしい講義等】 災害と社会、現代社会とボランティア、ボランティア活動論、福祉ボランティア活動Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ</p>					
12. 提出課題など（神）					
講義時に指示する。					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					

以下の①～④を「全て満たす」ことが単位認定要件である。

- ①. 防災士教本を参照し履修確認レポートを提出する。
- ②. 防災士養成講座（2日間連続）を受講し、日本防災士機構が実施する試験に合格する。
- ③. 本学及び地域消防署、日本赤十字社等が主催する「救急救命講習」を受け、その修了証を取得する。
- ④. ①～③の全ての要件を満たし、防災士の資格取得し、防災士認証登録申請書、救命講習の修了証を 2024年1月21日までに東北福祉大学（地域創生・ボランティア支援室）へ提出（郵送）することで単位認定となる。なお、提出がない場合は欠格となる。

14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）

下記の開催予定5回のうち1回参加すること

- ①6月17日(土)・18日(日) ②7月1日(土)・2日(日) ③8月7日(月)・8日(火)
④9月2日(土)・3日(日) ⑤11月11日(土)・12日(日)

- ・新聞、テレビ等の環境活動の動向に関心を持ちそれについて考えてください。
- ・欠席した場合は、試験を受けることができません（欠格条件）。
- ・30分以上の遅刻は欠席とみなします。

※この科目は開講大学以外の学生が履修する場合、対面によるスクーリングでの開講となります。受講の方法などは各大学のガイダンスや講義の中で説明いたしますので、必ず詳細を確認し、履修登録を行ってください。

15. 参考（オフィスアワー（工）等）

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	オリエンテーション～防災から減災へ～	地域減災活動とは何かを述べる
第2回	近年の自然災害に学ぶ①	歴史の観点から自然災害の捉え方について述べる
第3回	近年の自然災害に学ぶ②	歴史の観点から自然災害の教訓について述べる
第4回	そなえあれば… ～地域・学校・家庭のつながりの中で～	事前の備えといざというときの情報利用について述べる
第5回	災害と情報	災害情報の活用方法について述べる
第6回	地震のしくみと被害	地震発生の仕組みと事前・事後対応について述べる
第7回	津波のしくみと被害	津波発生の仕組みと今後の課題について述べる

第8回	自然災害からの避難	地形学的手法を用いた自然災害予測と避難について述べる
第9回	身近な防災対策	身近でできる防災対策について述べる
第10回	平時からの備え ～自助・共助そして公助～	行政の視点から自助・共助の必要について述べる
第11回	災害時要援護者支援	災害時要援護者の実情と課題について述べる
第12回	救急・救命活動 ～トリアージと応急手当を学ぶ～	トリアージの役割と応急手当の対応について述べる
第13回	災害とボランティア～義援金と救援物資～	義援金と救援物資の活用と課題について述べる
第14回	災害ボランティアの現状と課題	災害ボランティアの現状と課題について述べる
第15回	地域減災と社会貢献	地域減災と社会貢献における現状と課題について述べる

【コンピテンシー】 ※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

(下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。
期待度が高いほうが5、低いほうが1です。)

コンピテンシー	ポイント
マインド的コンピテンシー	3
成果を挙げるためのコアコンピテンシー	3
受容的コンピテンシー	3
応用的コンピテンシー	4
対人・集团的コンピテンシー	4

コメント